



第52回防衛問題セミナー



北海道防衛局は、令和8年6月12日（金）函館市芸術ホール（函館市）において、「昭和100年と日露関係」及び「防衛政策の現状と課題」の2部構成により、防衛問題セミナーを開催いたしました。

講演に先立ち、宮川北海道防衛局次長から、我が国を取り巻く安全保障環境が厳しさを増すなかで、防衛省・自衛隊は、国民の命と平和な暮らし、わが国の領土・領海・領空を断固として守り抜くため、現在、日本の防衛力の抜本的強化を推進しており、それには、国民の皆様のご理解とご協力が不可欠であるとの挨拶を行いました。



開催挨拶
宮川北海道防衛局次長

第1部 『昭和100年と日露関係』 防衛研究所戦史研究センター国際紛争史研究室 花田 智之 室長



第1部では、花田講師から『昭和100年と日露関係』と題し、昭和元年から起算して今年で満100年を迎えたことを踏まえ、我が国の安全保障を考える上で注視すべき日露関係史について、ご講演いただきました。

第2部 『我が国の防衛政策の現状と課題』 防衛政策局 防衛政策課 川上 直人 課長



第2部では、川上講師から『我が国の防衛政策の現状と課題』と題し、なぜ、防衛力の変革が必要なのか、ドローンやAIの活用、防衛装備品の調達など、様々な観点から防衛政策の現状と課題について、ご講演いただきました。

今回のセミナーでは、周辺にお住まいの方など約100名が来場され、大変盛況のうちに終了しました。

《参加者ご意見の例》

「ロシア側の思考・思惑を学べたのはよかった。」

「無人アセットドローンの研究や継戦能力に関して詳しい説明があり理解できました」

「ロシアウクライナ戦争によってドローンやAIによる戦争の新しいフェーズに入ったと感じました」

当局では、防衛政策や防衛省・自衛隊の活動等について、皆様にご理解・ご協力いただけますよう、今後も防衛問題セミナーを開催してまいります。

